

産業観光
きりゅう紀行⑤



多岐にわたるまちづくり
プロジェクトの拠点

桐生森芳工場（旧森山芳平織物工場）

桐生織物の先覚者である森山芳平（初代 - 二代）ゆかりのノギリ屋根工場で、昭和初年に二代目芳平により建てられたものである。昭和45年に織物業廃業後、30年余りの年月をへて工場の傷みが激しくなっていたが、平成15年から16年にかけてリノベーションされた。リノベーションの契機となったのは、16年前から「桐生再演」と題されたプロジェクトを開催する東京芸大を中心とした若いアーティストと学生たちの活動である。リノベーション工事に携わったアーティストと学生たちは延べ600人以上、平成16年3月「桐生再演9ー森芳工場リノベーション・プロジェクト」では、リノベーションのプロセスを画像と映像、マケット、資料展示を用いて、その全貌を公開した。



現在は、東京芸大関係者だけでなく、群馬大学工学部社会基盤デザイン研究室との環境共同実験、長岡造形大学建築・環境デザイン科のまちなみ調査協力、桐生大学短大部アート・デザイン科講師の参加など桐生市内外の大学機関とのコラボレーションを通して多岐にわたるプロジェクトが進められている。また、桐生森芳工場は、レジデンス施設としても機能している。

「桐生再演16」はより本質的なコンセプトを携え、今秋「桐生ファッションウィーク」期間に開催する。

- 所有者：森山 喜恵子
- 住所：桐生市東2-14-27
- 電話：0277-47-3560